第　94　号
2019年3月28日　発行
発行責任者　工藤　忠男
編集責任者　藤身　隆雄
TEL　0479 24 2225
http://choshi-geopark.com/

日本ジオパーク関東地区大会2018 in 筑波山地域ジオパーク
2019年2月2日（土）～3日（日）―報告2―

分科会

関東ブロックのジオストーリー

銚子ジオパーク推進協議会
事務局長　小川正俊

関東ブロック大会の二日目は分科会が行われました。今回から開催地の負担を軽減する目的で、分科会の運営は開催地以外のジオパークが担当することになり、第二分科会「関東ブロックのジオストーリー」を銚子ジオパークが受け持ちました。

ジオストーリーと言うと、ジオパーク関係者が想像するものは地質学的に掘り下げたアカデミックなものを想像しがちですが、「地層や岩石にワクワクしない人でもぜひ行ってみたくなるジオパーク」を実現するために、各ジオパークの特産品や自然・歴史・文化などを糸口として、それらが地球の営みに結びついているという興味深い物語（ジオストーリー）を提供することで、日頃ジオパークに馴染みのない人たちの旅の目的地にしてもらうことを分科会のめざすところとしました。

まず参加者を9グループに分けて、ご当地グルメ・スイーツ、地酒、特産品・地場産業、温泉、石、ローカル鉄道・船、歴史・文化財・祭事、景観、動物・植物の各テーマを割り振り、観光客の視点で各地域のテーマと大地を結びつけるストーリーを考えてもらいました。グループ編成は、この機会に顔見知りになり相互交流を深めてもらう意図を込めて同じジオパークからの参加者が重複しないよう配慮しました。限られた時間の中で参加者は、与えられたテーマについて各地域の違いを楽しみながら、ストーリーづくりに知恵を絞っていました。

今回の分科会でまとめたストーリーは、関東ブロックを紹介するパンフレットに掲載し活用します。パンフレットの完成は、次回の関東ブロック大会（十一月伊豆大島で開催）での配布を目標に、今後、編集作業を進めていくことになっています。

私は、このような分科会のコーディネーターを務めるのは初めての経験でしたが、参加者の皆さんと開催地のご支援でやり遂げることができました。ありがとうございました。

～～～～～～

観光プロモーション

川原俊久

2日目午前の「観光プロモーション」分科会に参加しました。第一希望は「関東ブロックのジオストーリー」だったのですが多人数のため「観光プロモーション」に振り分けられていました。

「伊豆大島ジオパーク」の臼井さんがコーディネーターとなり7～8名のグループ5組で行われ、銚子ジオパークからは私を含め6名でした。会議の最初にこの分科会が作られた理由が説明され、「今までの大会分科会では、大会ごとにテーマを設けてワークショップを行い参加者の理解を深めても、あとに成果物は残っていない。今回は分科会の成果物を次の6回大会までに形にしよう」とのことでした。具体的には関東の各ジオパークへの集客を目的としてインターネット「観光プロモーション」動画を作ることです。各ジオパーク20秒を8地域集め約3分ぐらいの関東ジオパークの動画とし、その主な対象はインターネットをよく見る若い人、若い家族にしようとのことでした。

その後5グループごとにそのアイディアを求めるワークショップを行い、最後に各班が様々なアイディアを報告しましたが、当然まとまりはつかず、今回の分科会をきっかけに各ジオパークの担当者が集まり2019年11月に行われる第6回ジオパーク関東大会までに動画を作ることを確認して終わりました。

若い人たちに注目されるジオパーク「観光プロモーション」動画は作り手にも若い人の感覚が必要と思われなかなか大変だなと感じて終わりました。

～～～～～～

ジオパークでユニバーサルデザインに親しもう

伊藤光徳

1日目のユニバーサルデザイン（UD）を学ぶジオツアー（地質標本館、植物園）と連動し2日目の分科会はジオパークでUDに親しもうと言うことで様々な研究機関やガイドさんの取り組みを紹介されました。

UDとは端的にいうと色覚障害者等の種々障害者にたいする日常的な配慮活動・運動と、なかなか分かりづらいが簡単に言えば、色覚障害者にも

（2ページに続く）